

世田谷区立弦巻中学校・松丘幼稚園改築整備方針（案）について

（付議の要旨）

世田谷区立弦巻中学校・松丘幼稚園の改築整備方針（案）を取りまとめたので報告する。

1 主旨

世田谷区立弦巻中学校・松丘幼稚園については、老朽化等の状況を踏まえ、平成30年5月に次期改築等整備校に選定し、「世田谷区公共施設等総合管理計画」の考え方に基き、昭和33年～36年に竣工している北側校舎（教室棟）を中心に改築し、合わせて松丘幼稚園との複合化を図るものとして検討を行ってきた。

このたび、改築整備方針（案）を取りまとめたので、報告する。

2 整備方針

（1）基本的な考え方

弦巻中学校と松丘幼稚園の複合化

弦巻中学校の改築にあわせ、同中学校の敷地内に松丘幼稚園を複合化し整備する。これにより、松丘幼稚園改築では仮設園舎の必要がなく園経営を継続できる。

また、現在の松丘幼稚園の跡地については、今後、活用手法を検討する。

弦巻中学校の棟別改築

「世田谷区公共施設等総合管理計画」の棟別改築の考え方に基き、昭和33年～36年に竣工している北側校舎（教室棟）を中心に改築対象とし、昭和53～58年に竣工している体育館棟とプール棟は引き続き活用することで、総事業費のコスト削減を図る。なお、特別教室棟は耐用年数に達していないが、改修によるバリアフリー化が困難であることなどから、改築対象に含むものとする。

弦巻中学校体育館及びプール棟の改修

解体予定の既存校舎に配置されている特別教室を体育館棟又はプール棟に配置するなど部屋の配置を見直すと共に、改修時期を工夫し、仮設校舎の抑制を図る。

松丘幼稚園の認定こども園化と新たな幼児教育の拠点としての施設の整備

「区立幼稚園用途転換等計画」に基き、松丘幼稚園を認定こども園として整備する。また、「第2次世田谷区教育ビジョン・第2期行動計画」及び「世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン」を踏まえ、より質の高い幼児教育・保育の実践の場としての施設を整備する。

改築工事中の仮設校舎整備

敷地南側に仮設校舎を整備する。改築を行う北側校舎に普通教室が多いことや将来の部屋配置も踏まえ、仮設校舎には普通教室を中心に配置する。

発注方式の検討

設計段階での利用者ニーズや発注者要望等への柔軟な対応のため、従来から採用している「設計施工分離発注方式」を採用する。

（2）敷地の概要

施設利用状況（平成30年5月1日現在）

・ 弦巻中学校	生徒数	324人（9クラス）
・ 松丘幼稚園（別敷地）	園児数	115人（4クラス・定数136人）

## 敷地概要

所在地	世田谷区弦巻1丁目4番22号
敷地面積	15,640㎡
都市計画等	第一種中高層住居専用地域及び第二種中高層住居専用地域、容200% - 建60%、45m - 第二種高度地区、準防火地域

## 建物概要

中学校及び幼稚園を複合化した施設の延床面積は、約10,030㎡とする。なお、棟別での改築とするため、改築する建物は約6,800㎡となる。

建物(棟)		既存	小計	整備後
弦巻中学校	体育館棟	1,676㎡	3,224㎡	1,676㎡(存置)
	プール棟	1,548㎡		1,548㎡(存置)
	特別教室棟	514㎡	6,132㎡	約6,800㎡
	教室棟	4,922㎡		
松丘幼稚園		696㎡		
延床面積合計			9,356㎡	約10,030㎡

### (3) 施設面積の考え方

#### 弦巻中学校

教室(特別教室、管理諸室等を除く。)として21教室(普通教室12室、ワークスペース3室、特別支援学級等6室)を想定する。

#### ア 普通教室

学務課の推計による児童数の予測(平成30年5月)は以下のとおりである。36年度のクラス数の内訳は、1、2学年4クラス、3学年3クラスであるが、3学年はプラス数名で4クラスとなることから、全ての学年を4クラスと想定し、12室の普通教室を確保する。

年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
児童数	324	328	338	352	349	358	360
(クラス数)	(9)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(11)

#### イ ワークスペース

標準設計仕様書の標準的な考え方に基づき、普通教室のあるフロアに1室を整備し、合計3教室を確保する。

#### ウ 特別支援学級等

平成31年度から導入予定の特別支援教室1教室分と、特別支援学級(固定学級)のクラス数増加を踏まえた5教室分(現況3教室)の計6教室分とする。

#### 松丘幼稚園(こども園への用途転換予定)

これまでの4歳児及び5歳児に加え、認定こども園化に伴い3歳児枠を設ける。教室としては、各学年2教室(計6室)を確保する。また、新たに給食の提供を開始することから、給食室の設置を想定する。区立認定こども園への用途転換については、今後、区立保育園のあり方に関する検討も踏まえつつ、区全体として必要な取組みを進めていく。松丘幼稚園の用途転換の基本的な考え方については、基本構想の検討にあわせて、平成30年度内にまとめていく。

用途転換する区立認定こども園は、教育総合センターに設置予定の乳幼児教育支援センターと連携した研究拠点とし、その成果を公私立幼稚園・保育所等に広く発信する役割を果たす。

### 3 概算経費

#### (1) 概算事業費（設計費、建設工事費、解体工事費、仮設校舎設置費）

約39.7億円

内訳

設計費 : 約2.2億円

改築費 : 約25.5億円

(うち中学校:約19.3億円、幼稚園:約6.2億円)

既存校舎改修費 : 約5.3億円

解体工事費 : 約2.7億円

仮設校舎経費 : 約4.0億円

外構工事費（校庭整備含む）は上記概算額に含まず。

#### (2) 施設維持管理費

約4千万円/年

小中学校（一部除く）の過去3ヵ年決算額平均値（光熱費、修繕費、委託費）及び多聞幼稚園（認定こども園）の決算額から試算

#### 4 改築スケジュール（予定）

平成30年度 設計者選定公募開始・設計者決定・基本構想

31年度 基本設計

32年度 実施設計・仮設校舎整備等

33～35年度 解体工事・建設工事・外構工事（校庭整備含む）等

#### 5 今後のスケジュール（予定）

平成30年7月 教育委員会

7月 文教常任委員会

